

クラス番号	912	ゼミタイプ	地域研究型
		担当教員名	横山由香里
テーマ	災害にどう備えるか ― 当事者の声をお聴きし、私たちにできることを考える―		

ゼミナール概要

目的、内容、方法等：

日本は災害の多い国と言われています。残念ながら災害の発生そのものを防ぐことは困難です。しかし、災害が起きてしまった際に、その被害を最小限にできるよう事前に備えておくことは可能です。

地域には様々な人たちが住んでいます。がん、認知症などを抱えながら生きている人、妊婦さん、外国籍の人、高齢者、視覚や聴覚に障害のある人など…。災害が発生した時に、特に配慮が必要と思われる方々は災害時にどのようなことに困るのでしょうか。

このゼミでは、①疾患や障害をお持ちの人など、災害に対して脆弱と考えられる方々にお話を聞かせていただき、暮らしの様子や心配事などを学んだうえで、②私たちにどのようなことができるかを考えます。

<キーワード> 災害、備え、当事者、理解、連携

<学習目標>

- ① 困難と共に生きる人々の思いや暮らしの様子をお聞きし、災害時の課題を考えることができる。
- ② 災害時の課題に対し、自身や周囲の人々にできることを考え、提案することができる。
- ③ 多職種・他機関の連携や地域の人々のつながりによって、支援の幅が広がることを理解できる。

授業計画：

- (前期)
 - ・ 文献や資料から当事者の思いや問題を知る / 過去の災害から学ぶ
 - ・ 当事者団体（患者会・家族会）などを訪問し、実際の声をお聴きする
- (後期)
 - ・ 災害に脆弱な人々に対して、どのような備えや支援が可能かを考える
 - ・ 企画・立案・実施 → まとめ

備考：グループワーク形式で行います。当事者の方々にお会いするため学外に出かける場合があります。行き先は授業開始後に相談したうえで決めますが、大学近隣以外にも名古屋方面に出かけるグループがあるかもしれません。学外に出るのは、年間で2-3回の見込みです。交通費がかかる可能性があります。

担当教員からのメッセージ

病気や障害、つらい出来事など、大変な状況にあっても困難に対処し生きていく人々の言葉や姿に、私自身が心を動かされたことが何度もあります。皆さんにも、当事者の方々と出会いを通して多くのことを学んでもらえたらと思います。

ゼミでは皆さんが「知りたいこと」「見てみたいこと」を応援します。ゼミ生からの企画・提案は大歓迎です。皆さんの主体的な参加を期待します。